

建築士事務所協会報

特集1 青年部会取材 呉工業高等専門学校
「デザコン2022
—全国高等専門学校デザインコンペティション—」

特集2 新春企画「豊田会長と若手理事による新春座談会」

3

MAR 2023
VOL. 474



ホームページ

一般社団法人
広島県建築士事務所協会
Hiroshima Association of Architectural Firms





建物外観

まちの駅 ADOA大野

《建物概要》

建築主：大野町商工会

設計・監理：有限会社キマタ設計

構造担当：株式会社ウッドワン

施工者：株式会社A&C

建設地：広島県廿日市市大野一丁目

用途：店舗・事務所

構造規模：木造平屋建て

建築面積：920.00㎡

延床面積：880.00㎡

設計期間：2020年10月～2021年3月

工事期間：2021年5月～2021年11月

《設計概要》

施設「まちの駅ADOA大野」は宮島から西の方角で、廿日市市大野に位置する。

地元の商工会が中心となり、道の駅をイメージした「まちの駅」として地域産品マーケット、フードコート、観光情報の交流スペース、多目的ルーム、大野町商工会の事務所もあり、様々な機能を備えた賑わいを創出する施設となっている。

軒の出4.0m、軒下空間は、内部と外部の中間領域で廿日市市大野支所と広場（イベントなどの会場）と繋がる様に計画している。

- ・建物外観は、軒下大空間を持つシンプルな切妻屋根としている。

- ・建物内部は最高天井高さ7.0mの大空間勾配天井とし、木構造現わしで内装制限緩和規定の見付け面積1/10以下を考慮しつつ、柱、梁材をできる限り現しとした。

木の暖かみを感じる、居心地の良い、賑わい場所として新たな中心地となることを願っている。



フードコート



地域産品マーケット



交流スペース

■特集

- 2……特集1 青年部会取材 呉工業高等専門学校
「デザコン2022—全国高等専門学校デザインコンペティション—」
10……特集2 新春企画「豊田会長と若手理事による新春座談会」
17……行政ニュース 令和5年度広島県住宅耐震化促進支援制度の対象市町の拡充について

■協会トピックス

- 20……月間行事
22……令和5年新年互礼会 開催報告
24……委員会報告 大建工業パブリックフェア見学報告

■お知らせ

- 25……令和5年度日事連建築賞 作品募集
28……建築士事務所のための法律相談窓口

■賛助会員コーナー

- 29……お役に立ちます！～賛助会員紹介～
31……うち、来てみんさい！～正会員紹介～

■リレーエッセイ

- 33……私のお気に入り 尾立道泰
36……会員動静
37……編集後記 山本英広

■今月の表紙タイトルバック／日本の伝統色

夢宵桜 ゆめよいざくら

春おぼろきみの姿もまぼろしの…山桜の可憐な色。
桜—それは心躍る春の盛りをいろどる。

(十日町織物工業協同組合策定きもの誕生色より)

建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、
社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 一、誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 一、健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産形成を図ります。
- 一、自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽くします。
- 一、設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 一、互いに信頼を深め、連帯の精神を持って職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
一般社団法人 広島県建築士事務所協会



「全国高等専門学校デザインコンペティション」(通称:デザコン)は全国の高等専門学校で競われる競技です。主に土木系・建築系を中心に全国の高専生が参加し、4部門に分かれて作品を作成し競い合われます。その大会に出展された、呉工業高等専門学校(以下、呉高専)の学生のパワーあふれる作品をご紹介します。

デザコンについて、
詳しくはこちら



【空間デザイン部門】課題テーマ:2040年集いの空間 『審査員特別賞』

課題テーマにつ
いて、詳しくはこ
ちら



響～“学びと遊び”、“地域住民と外国人技能実習生”の共鳴～

○宮本知輝(3年)、大坂康介(3年)

宮本さんの地元である安芸高田市の2040年に着目し、作品をつくられています。安芸高田市では外国人技能実習生の受け入れを積極的に行っていますが、地域の人と外国人のつながりが薄く居場所がないのでは、そして技能実習には「学び」しかなく「遊び」がないのでは、ということを課題として捉え、その一つの対策案を提案しています。「学校には「学び」と「遊び」があるんだ」という言葉が、学生ならではの視点で興味を掻き立てられました。

「学び」と「遊び」を届け、実習生と地域住民の繋がり・集いの場として、現在閉校されている元郷野小学校校舎を舞台として選ばれています。学校を実習生の住まいとしてコンバージョンす

るだけでなく、自然と繋がりを持ちやすいよう廊下を長いリビングとして計画する等々、みんなが響きあう集いの空間を細部まで考えられていました。



大坂 康介さん、宮本 知輝さん



作品について説明をする
宮本さん（右端）と大坂さん（右から2番目）

そして遊びで繋がる場として、半屋外の茅葺屋根の空間を計画されています。実習生の多くは東南アジア周辺出身です。その地域で見受けられる高床式住居、そして市内の高架下で実習生が集っている光景を見かけることから、影を作る屋根と少しの空き地があれば自然と人が集うのではと発想したそうです。

また、茅葺屋根は数十年に一度葺き替えが必要で、それをイベント化に繋げれば、その後の交流の一つのきっかけになります。コミュニティをつくりつつ、みんなで集い協力しあうことで、その先の新しい可能性もみえてくる。2040年だけでなく、さらに先の未来も見据えた作品です。



響（1/150 模型）

プレゼンボードと大きな模型を作成されており、ボードに描かれたパースは躍動感にあふれています。思わず見入ったこのパースは大坂さんの手書きだそうです。計画建物だけでなく周辺の風景も丁寧に描かれています。建物単体だけでなく、地域全体を考えているのだということがよく分かります。模型には安芸高田市で行われている神楽の様子も表現されています。

理論派：宮本さんと、感覚派：大坂さんの名コンビで、二人でディスカッションしながら、また模型は友人たちの手を借りながらつくり上げたそうです。細部までこだわりがちりばめられた作品ですが、何より「集う」というテーマに対して、「響」という題目をつけたセンスのよさ！想像が広がります。人々が集って共鳴を起こす、神楽の音が響く、「郷」野小学校の文字、等々、沢山の意味が込められています。

作品の作成にあたり、地元をあらためて強く意識するようになった。この記事を通じて、安芸高田市とご縁ができれば、またこの作品の形でなくても地元に貢献できることがあればうれしい、と宮本さんがお話されていました。これからの未来をつくる若者と地域とが共鳴して、さらに豊かな地域をつくりあげてくれることを楽しみにしています。



審査員特別賞の記念品とともに



空間デザイン部門 審査員特別賞受賞 【響～“学びと遊び”、“地域住民と外国人技能実習生”の共鳴～】

【構造デザイン部門】課題テーマ：新たなつながり -ふたつでひとつ-
『日刊建設工業新聞社賞』 双嶺(そうれい)

課題テーマについて、詳しくはこちら



○小椋千紗(5年)、樋口彰悟(専攻科2年)、小宇羅由依(5年)、築山綾花(4年)
竹本快未(2年)、吉川諒哉(1年)、土手淳平(5年)、栗原奈々子(5年)
脇田美礼優(5年)、高田澄海(2年)、松下芽生(専攻科1年)

橋の模型をケント紙で作成し、耐荷性や構造的な合理性、軽さ、デザイン性等を競う部門です。2つに分かれる橋を製作し、その場で1つにし、荷重をかけてどれくらい荷重に耐えられるかが審査されるそうです。大会では、実際に模型におもりを10kgずつ、最後は5kgずつ足していき、45kgの荷重に耐えました。残念ながら指定荷重の50kgには耐えられなかったそうですが、デザイン性が良いということで受賞されたそうです。通常は壊れた橋は受賞できないそうですが、それでも賞を獲得した、審査員の心を動かした美しい橋です。

橋は、紙でつくった三角柱を8本組み合わせ、8角形とした部材等で作られていました。精度よくするため紙はレーザーで切って作成されたそうです。設計担当、レーザー用図面の作成担当、カット担当、組み立て担当等、高専1年生から専攻科2年生まで、幅広い年齢層のチームワークで作上げた作品です。



三角柱を8本組み合わせて作り上げた8角形の部材

実際に上から模型を押してみましたが、力をかけてもびくともせず、紙だけでこんなに強度がでることに驚きました。また、持ち上げてみると114gととても軽く、二度びっくりです。

メンバー全員に今回の製作を通しての感想をいただきました。



(上段左から) 吉川さん、栗原さん、小椋さん、脇田さん、築山さん、高田さん
(下段左から) 土手さん、樋口さん、小宇羅さん、竹本さん、松下さん



実際に筆者自身でも強度を確認してみました

土手淳平さん(5年)：

載荷担当で、壊れないようゆっくり慎重におもりをおくことを心がけました。来年は専攻科1年で設計を担当！

栗原奈々子さん(5年)：

部材の組立の精度が重要になってくるので、細かいところに気を付けながら製作することが大変でした。

小宇羅由依さん(5年)：

製作を担当。ねじれたりするのは施工精度の問

題のこともあるので精度よくがんばりました。
8角形をつくるのが楽しかった。

小椋千紗さん(5年)：

紙の真ん中に角を合わせる作業がむずかしかったけど、毎日練習して、精度よくつくれるようになりました。

脇田美礼優さん(5年)：

レーザーで切るための部材を作成。ケント紙の無駄がでないように調整をしながら、またどこが大事ポイントかみんなで共有しながら製作しました。

竹本快未さん(2年)：

部材の一つ一つの精度を上げていくように取り組みました。みんなと力を合わせて一つの橋ができるようがんばりました。

吉川諒哉さん(1年)：

先輩の部材の工夫をみて、教えてもらいながら部材を製作しました。先輩方からコミュニケーションをとってもらい、やりやすかったです。

松下芽生さん(専攻科1年)

ポスター制作を担当。各橋のコンセプトが伝わりやすいデザインにすることを意識しつつ、メンバーの意見を反映させることが難しかったです。

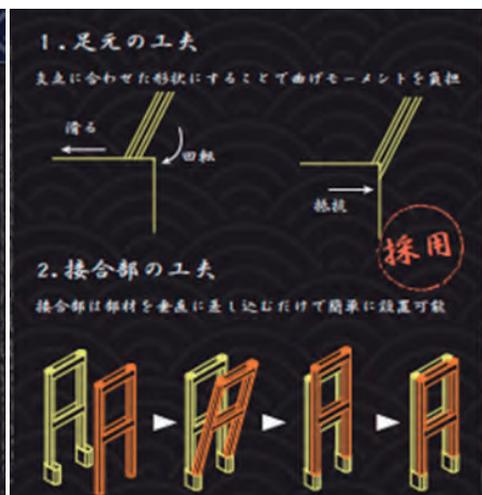
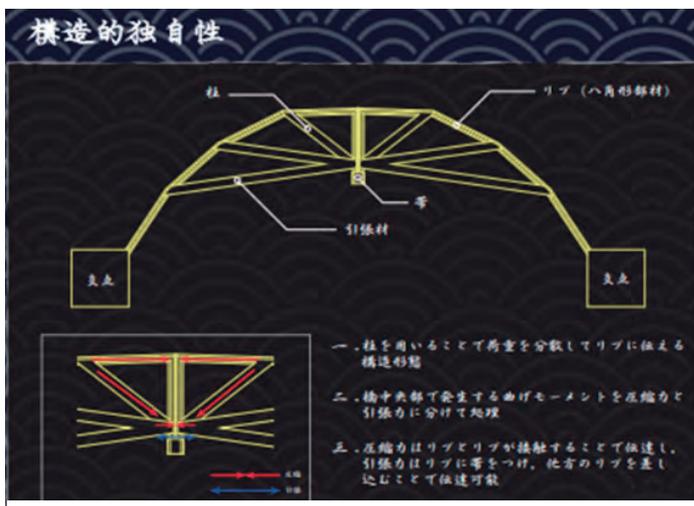
「構造的な合理性と強さを追求し、この美しい形にたどりついた。みんなが協力して展示用ポスターをつくってくれ、展示用ブースにも工夫をこらした。ブースに分かりやすいようコンセプトや部材の八角形を展示したりしたことも、評価をも



作品について語る樋口さん

らったと思っています。」と、設計担当の樋口彰悟さん(専攻科2年)。本年度から2つにわけて合体させるという新しい課題になったそうですが、課題提示者が何を狙っているか設計者として読みはあった？と質問したところ、「圧縮材同士を接合するのは簡単と思う。引っ張り力をどう処理するのが狙い目かと考え、この案を考えた。他校は圧縮力だけで力の伝達をすることが多く、引っ張り材の受け渡しは呉高专独自だった。」と回答いただきました。何を意図しているのかを正確に捉え、それを形にしていかれたところに取材したメンバー一同、深く感動しました。

そして先輩の背中を見て、次年度へとつながっていきます。来年度のバトンを引き継ぐのは土手淳平さん。プレッシャーはあると思いますが、頼れる存在です！最優秀賞目指して、本年度に負けないチームワークで素晴らしい作品をつくられることを期待しています。



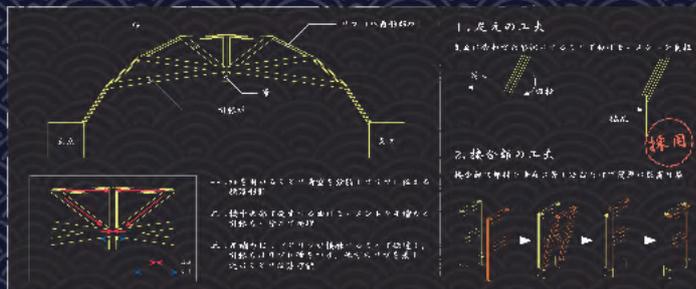
【双嶺】構造の解説 (一部抜粋)

双嶺 そうれい

山の高さを伝える頂を嶺(みね)という。ソフトの橋が積み重なって一つの嶺を生み出す。1つのアーチが100kgの荷重を耐え抜く。



構造の独自性



八角形部材の製作手順



設置手順



呉工業高等専門学校

構造デザイン部門 日刊建設工業新聞社賞受賞 【双嶺(そうれい)】

『人ツ橋』
ってどんな橋？

“人と人が肩を組み合わせる”
ように合体する橋です！

橋の構成部材

リブ(八角形部材) 接合部材 ストッパー

引張り材 たすき 柱

COOL! OH!

橋のこだわりは...?

引張り同士を接合するのではなく、
リブに掛ける構造形態にすることで、
引張力を互いの橋に伝達が可能！

ストッパー たすき

『人ツ橋』 呉高専

メンバーが力を集結し、誕生した最強の一つの橋！！

橋のこだわりは...?

リブの接合部を鋭角に切り欠くことで、
部材同士の応力を連続的に伝達できるように改良！

BEFORE 90度 95度 98度

AFTER

1 START!! 接合部にリブを差し込む

2 ストッパーを折り込む

3

4

5 WOW!! たすきをストッパーで固定する

GOAL!!

構造デザイン部門にエントリーした、別作品【人ツ橋】

【プレデザコン部門】課題テーマ：この先へ!!

<空間デザイン・フィールド>

『最優秀賞(科学技術振興機構理事長賞)』 回遊

○工藤 周悟(2年)

課題テーマについて、詳しくはこちら



プレデザコン部門は高専3年生までを対象とした、「実在する」或は「実在した」空間のパースを描く部門です。「写真の様な写實的・客観的なものではなく、異なる時間や視点が混在するなど主観的なものとする。独創的・想像的な時間・空間をコラージュした「似て非なる」唯一無二の時空の提案を」という少し難解な、想像力が求められる内容です。

その部門で栄えある最優秀賞に輝いたのが工藤 周悟さんです。サンティアゴ・カラトラバの「芸術科学都市」(スペイン)を題材に作品が作られています。「芸術科学都市」は5つの印象的な建築群が連なっており、観光地や憩いの場にもなっています。

工藤さんは、「この先へ」というテーマを考え、いろいろ悩みながら、ご自身が持たれている建築の写真集で見つけたこの建物を題材にすることに決めたそうです。「芸術科学都市」のところが丸まったところが生き物のようで、今にも動き出して先に進んでいく感じがする。また周辺がプールのようになっていて、ある角度からみた

らクジラにみえると感じ、題材に選定されたということです。題名の『回遊』には、人々があちこち遊覧して回る、自分が想像した生物のくじらが回遊する、という意味が込められています。

ポスターには、建築とくじらが一体になった、今にも飛び出してくるような迫力あるパースが描かれています。色鉛筆と水彩絵の具で、トレースではなく写真を見ながら描いたそうですが、建物の特徴をよく捉えており、建築家の意図をよく理解していることが感じられます。建築家が何を表現したかったか忠実に映しこんだうえで、自分の発想を加えて描かれており、想像力と観察眼が素晴らしいです。

この作品を見ていると、どんどん先へ進んでいく冒険物語を彷彿とさせられます。想像力とそれを形にする力をさらに磨いて、自分自身の「この先へ」とさらに進んで行かれることを期待しています。



工藤 周悟さん



作品について説明をする工藤さん(右端)



空間デザイン・フィールド 最優秀賞(科学技術振興機構理事長賞) 【回遊】

取材を通しての明るく想像力豊かな学生との交流は、とても楽しく、フレッシュな刺激をもらうことができました。

最後になりましたが、快く取材を受けてくださった呉高专建築学科の教員の皆さまにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

特集2 新春企画「豊田会長と若手理事による新春座談会」



左から 福山情報・編集委員長、砂原理事、小西理事、豊田会長、村田理事、大旗理事

福山情報・編集委員長（以下、福山）／普段、会長と理事の皆さんは理事会では顔を合わせることはありますが、なかなか協会活動などについて直接議論するようなことがないという状況だと思います。また、協会はこの10年来、若手理事や女性理事も増えている状況です。

そういった中で、若い理事の方というのは今後この協会を引っ張っていく立場にあると考えています。現状で協会の問題点と言いますか、もう少しこうしたらいいのではないかとというようなことがあります。今日はこちらで5つのテーマを設定しましたので、ざっくばらんに意見交換をしていただければと思います。

会員増強

- ・魅力ある協会
- ・費用面での助成などの検討
- ・若い世代への積極的な情報発信

村田理事（以下、村田）／一つ目の魅力ある協会に関しては、現時点で魅力がないという訳ではなく、私自身が理事の立場であるというのと、日事連の青年連絡協議会に出席している中で、広島に限らず全国でも建築士事務所登録はあるけれども、事務所協会に入る方が少ないのが現状です。

全国大会の前日に開催される青年話創会の中でも同じような話になります。そこでも、協会にどんな魅力があれば入るのか、何をもちょう魅力とするのかという討議をずっとしていますが、答えが見つかってないのが現状です。

広島会では、一般向けのイベントとして「建築士事務所とつくるこだわりの建築展」はありますが、同世代同士など事務所間の交流がまだまだ少ないと思っています。

事務所協会の横の繋がりというのがなかなか難しいというのも十分理解できますが、横の繋がりやざっくばらんに話し合いのできる場所があれば、1人～2人の設計事務所が入りやすくなるのではないのでしょうか。

協会の運営とは別に、事務所協会に入ることによって、自身の事務所に持って帰れるネタがあればもっと協会の会員が増えていくのではないかと考えています。

二つ目に、費用面で建築士事務所である以上は会費が一律、または細分化することも一つの方法だと思います。

また、1人～2人事務所の場合には費用的なもので助成する方法も考えられます。1人～2人事務所は経理・総務・営業・技術など全ての業務をこなさなければなりません。例えば確認申請の資料などが簡単な操作で選べるようなソフトを協会として提供するというのをすれば、事務作業の時間や費用が少しは軽減・助成できるのではないかと考えています。

三つ目の、若い世代への情報発信を積極的に行うことですが、弊社社員や1人～2人事務所の方に聞いても「事務所協会に入って何のメリットがあるの？」というのと共に、「事務所協会って何をしているのかよくわからない」というのがだいたい第一声です。

もう少し情報発信をしていけば、事務所協会は
何をしている団体か、入ることによってどうい
ったメリットがあるのかという事を理解していただ
けるのかなという意味で、若い世代への情報発信
を積極的におこなったらどうかということです。

・基本路線は今のままでいい

大旗理事（以下、大旗）／個人的に事務所協会に
不満があるとか、大きく今変えないといけないと
か、そんな危機感はあまり感じていません。事務
所協会は一般社団法人として、参加している設計
事務所を後ろから支援してくれるような活動を続
けていくことが大切だと思っています。会員を増
やしていくことを議論するよりも、入会すること
で事務所が成長できるような魅力ある事業を増や
していくことについて話し合うことが大切だと思
います。事務所協会に入ったらいろんなことを教
えてもらえて、スタッフがボトムアップできるよ
うなシステムがあるとか。今の協会もその方向で
強く進めていただいていると感じていますので、
それを継続してもっともっとやっていけば、自然
と会員も増強されていくと思います。

・建築士事務所協会に入ったメリットを作る べき

砂原理事（以下、砂原）／会員増強についてです
が、入会した時のメリットというのは皆さんが求
められているところなのかなと思っています。ホ
ームページに載っている会員特典を見てみると結
構色々ありまして、私が知らなかつただけなのか
もしれません。

例えば、建設業労働災害防止協会は入会すれば
競争入札参加資格の加点がもらえるような取り組
みをおこなっています。広島市に直談判しに行く
などをして実現することができています。入会し
たいと思っていただけのような取り組みが必要で
はないでしょうか。

・一般の方への周知を高めて、事務所協会に 入っていることが建築主からの信頼につな がると意識してもらおう。協会のブランド力 向上にもつながる

・会員の満足度を向上させる

小西理事（以下、小西）／もし自分が協会に入っ
ていなくて、協会に入る動機づけだったら何があ
るか考えた時に、お客さんから「協会に入っ
ているんですか？」と聞かれたらやっぱり入らな
いといけないのかなと思いました。なので、まず
一般の方に事務所協会を知ってもらい、一般の人
から見て事務所協会に入っている設計事務所なら
信頼できるなどと思ってもらうことが、結果的に設計

事務所が事務所協会に
入ることに繋がると思
います。

それから、今の会員
の方の満足度を上げれ
ばおのずと会員増強に
繋がると思っています。

豊田会長（以下、豊 田）

／そもそも会員増
強って何でしょうか。
会員が増えたら他の会
員さんに何かメリッ
トがありますか、とい
う話になってくると思
います。会員増強の目
的は何でしょうか、と
いうことが抜けてい
ると思います。

入会して何のメリッ
トがあるのかというこ
ともありますし、いろ
んな特典を作ってみ
たり一般の人から事
務所協会に入ってい
ますか？という質問
が出るようになって、
知名度が上がるとい
う面では会員が増え
るということはいい
ことだと思います。

私たちは法の下での
業務をおこなってい
るので、みんなが力
を合わせてその法に
対して物が言える
だけの力を持ち、国
や自治体と意見交換
するために人数が集
まる必要がある団
体じゃないかなと思
います。

そのために皆さんが
声を大きく上げよう
じゃないかということ
を言えるよう、集ま
ってほしいという問
いかけがしたいと私
自身は思っています。

例えば昨今色々法改
正がたくさんありま
したが、これは議員
立法で上がってしま
いましたが、建築士
事務所協会と建築士
会と建築家協会の三
連合で力を合わせて
実現しています。し
かし、それはトップ
の日事連で決まった
ことで私たち地方は
分からず、今も省エ
ネ法はどんどん改正
していつている。

こういったことに対
して、地方も決まる
までには物言ってい
こう、もっと議論に
参加できるのでは
ないか。そのために
こんなことをやって
いまずという姿が皆
さんに見えた時に、
この協会の価値が
上がるのではないで
しょうか。

村田／土業の中で一
番安い職種になって
しまっています。対
価が低いのに責任は
重く押し掛かる。責
任と対価ができるだけ
合うように持ってい
ける人の力がある協
会になれば、会員増
強はおのずと図れる
ことじゃないかなと
思います。



会長 豊田 隆雄
株式会社K構造研究所

青年部会のあり方

福山／情報・編集委員会の下部組織として青年部会が発足して8年程になります。現在は主に、大学、高専、専門学校取材や、異業種交流会の開催などを行っていますが、今後の青年部会のあり方についてどのように考えられているかお聞かせください。

- ・ 専業、兼業分け隔てなく、集う場所を提供
- ・ 同世代の交流の場
- ・ 集まる時の大義、意義ではなく、集うことに意味がある

村田／現在、専業と兼業、賛助会員の全てが集う場所として広島会では青年部会がありますが、他県を見ると専業兼業を分けている、専業しか入れない、年齢は40歳までと区切っている等があると聞いています。

専業だけが集まっても意見が偏ってしまいます。専業の職種では分からない問題点なども、兼業や賛助会員の方がおられることによって解決への道筋が見えてくることもあります。自分たちの技術の向上にも繋がるし、意見交換会をすることによって、より良い若手が育っていくということで、広島会の青年部会のあり方としては今のまま、専業兼業などを分けずに、同世代が集まってざっくばらんに意見交換をして、いろんな会社の同世代が集まって話をする場を提供していけばいいと思います。

集う場所を提供し、その後いろんな問題意識を持ってもらい、ゆくゆくは会員増強にも繋がっていくとも考えられます。問題意識を持つと、いろんなことに関して行政や施主に対しての発言、意見がまとまっていくとも思います。

ただし、集まって交流してくれと指示しても、それは指示であって、本人たちは希望して集まっているわけではないので、なかなか難しいところです。



理事 村田 正道
(株)村田相互設計

協会としてもボウリング大会やカーブ応援交流会があり、これらに参加して他社の方々と交流することによって、井の中の蛙にならずに、会社に帰ってきた時に自分はこうしないといけないなど考えも変わるきっかけになっていると感じます。

とにかく集まって、ざっくばらんにいろんな話をして、いろんな問題、自分が思っていることを話せる、気心知れた話ができる場所を協会として提供するの、この青年部会の最初の突破口だと思います。

日事連の青年話創会も、最初はとにかく人が集う場所を作るだったと聞いています。

- ・ 青年部会に何を求めているのか、目的を明確にするべき

大旗／「あり方」について改めて問われると非常に難しい問題だと思います。

設計スタッフが集まって楽しく意見交換をするような場なのか、または若手の経営側に立つ人達が集まって業界のことを語り合う場なのか。大きく二つあると思いますが、青年部にどのような活動を進めてほしいのか、そこを明確にすることが大切だと思います。

福山／現在の広島の青年部会が情報・編集委員会の下部組織で、どちらかというと大学などに取材に行ってもらって記事を書いて会報誌に載せるのがメインになっています。

今のこの状況に対して良いのか、悪いのかみたいなことが一つです。別の集まり方もあるような気がしています。

- ・ 青年部会が何を目的に活動を行うのか
- ・ 建築士の魅力発信をして建築士を志望する方を増やす取り組みをしては
- ・ 大学生や高校生、中学生などに向けて建築士の魅力発信を行う事業
- ・ 行政が行っている建設フェアなどへの参画

砂原／私は建設業の団体で、同じように色々な取り組みをさせていただいていますが、親会の方は行政や他団体との意見交換会など、情報収集を行い、青年部会は建設業の魅力発信など、将来の担い手確保に向けて、実働部隊として大学等の教育機関へのアプローチをされておりました。

事務所協会の青年部も同様に、建築士の魅力発信など、将来の担い手確保を目的に実働部隊として活動するのもいいのではないかと思います。

広島市の取り組みで「ひろしまキャリア教育応援団」という中学生を対象としたキャリア教育事業があり、建設業の団体としても参画し、青年部が建設業の魅力発信などもしております。同様に建築士事務所協会としても建築士の魅力を発信できるのではないかと感じました。

他にも行政が毎年「ひろしま建設フェア」という建設の仕事を体験し学べるキッズイベントを開催していますが、そういうところにも参加し、「建

築士とは」というのを発信しても面白いんじゃないのかなと思います。

・会員に青年部会について知ってもらう

小西／私は、青年部会は何をやっているのか全然分からなくて。多分、私と同じように分からない会員の方もいらっしゃると思っています。まずは会員の方に向けて青年部会はこういう活動をしています、ということ伝えていくのがいいと思います。

豊田／青年部会を交流の場にするのはいいですが、実際に事務所協会には1人事務所の人がたくさんいて、そういった人が入ってきた時に自分の業務をしながら活動できるのかと疑問に思っています。

できるだけ集まって欲しいし、交流もしてほしい。けれど、青年部会という一つのコアがあって、担当スタッフを決めて交流しようとする、10人なら10人というコアだけの交流になって止まってしまう、事務所協会全体の若者の交流にはならないじゃないか、と思っています。

若者が集まるためのコアのスタッフの集まりという意味で部会を作り、そこから会員の皆さん全体が入って交流してもらおうというやり方にしないと、本当の交流にならないかなと考えています。

集まってくださいと言って集まった中で、その人たちに何か企画やテーマを考えていただく。それは集まった人達が次の一般の事務所の若手を集められる企画を、講習会でも講演会でもいいですし、建築の勉強をする会議でもいいと思います。ぜひ来てくださいと案内するような企画チームになればいいという思いがあります。

それとは別に、日事連の青年話創会というのは全く違う意味合いで、大旗さんがおっしゃった若手の経営側に立つ人達の集まりだから、私の中では分けて考えています。

福山／若い人がそこだけの活動で留まるよりも、そこで何か考えて協会の若い人全員に向けて何かこう活動ができるようなこと、広島独自の青年部会というのをちょっと考えていく必要があるのかなというふうに今お聞きして感じました。

会員同士の交流

- ・ 専業、兼業分け隔てなく、集う場所を提供する
- ・ 同世代の交流の場、ビジネスマッチング等を行う

・ 青年部会も同じ、協会を通して、会員の皆さんが集うことに意味がある

村田／会員同士の交流の場として、ボウリング大会やカーブ応援交流会、ゴルフコンペ等、専業兼業分け隔てなく集う場所を既に提供してもらっていると思います。ただ、福岡会や熊本会の話聞いて広島会と違うなど感じたのは、青年部会が盛んに活動されていて、福岡会の場合は1人~2人事務所の人たちが集まって、そこで「熊本のアートポリスを見に行こう！」となった時に、旅費の援助を協会からしてもらおうかという交渉の役目が青年部会になってきているようです。

また、皆さんがざくばらんに集まる場所があって、そこからビジネスマッチングが生まれるということで会員交流ができれば、何か目的があって集まるのではなく、人を集めてそこで人を知ってもらう。人を知ってもらい、その後は人と人の人間性でいろんな仕事に繋がる場合もあるかもしれません。とにかくそういった場を協会としてどんどん提供していくことが必要だと思います。

・ もっと活動をオープンにしていけば自然と交流が生れてくるのではないかな

大旗／大きな問題ではないと思っていますが、事務所協会がどういう活動をしているのか、よく伝わってこない問題があると思います。会報誌を見るといろいろ情報発信はされていますが、会員の皆さんが具体的に何をしているのかがなかなか伝わってきません。もう少し明らかになると、自然と交流も生まれてくるんじゃないのかなと。例えばさっき話があった行政との意見交換会も、私が担当理事になって初めて活動内容を知りました。非常に大切な話をされているのに、なかなかその場で話し合った情報が共有されていないのは、もったいないなという気がします。もう少し広く情報共有ができる場を作ることができれば、そこに自然とひとが集まって交流が生まれてくると思います。

砂原／ゴルフやボウリングなど会員交流のご案内をいただきますが、兼業のため、どこかで遠慮してしまっていました。今後は機会があれば参加していこうと思います。

会員同士の交流ということですが、やはり同じ目的でずっと



理事 大旗 祥
大旗連合建築設計㈱

活動していたら自然と仲が良くなりますよね。私も同業種の集まりがありますが、仕事の面ではライバルですけど、建設業界全体の発展に向けて活動していく中で、皆さん仲が良くなっていると感じています。皆さんが同じ方向で活動ができるような取り組みをされたらより良くなるのではないのでしょうか。

・ワークショップを行い、参加者の交流を深めつつ、スキルアップする

・会員全員が参加できるイベントを行う

小西／会員同士の交流と聞いた時に、会社同士の交流なのか、個人の交流なのか、または経営している人たちだけの交流なのかというのがちょっと分からなくて。それと、その人たち同士の単純な懇親なのか、会社の社員あるいは自分のスキルアップなのか、ビジネスマッチングのような仕事に繋げる交流なのかで、色々考えが変わってくると思うんです。事務所協会としては、スキルアップとか仕事に繋がる交流がメインになると思っています。CPDをもらえるような講習会だとスタッフも行きやすいし、その後に参加者の交流を深めるような時間とかをセッティングして、スキルアップと一緒に勉強した人達と交流を深めて意識共有みたいなのでできればいいとも思いました。

後は全員が参加できるイベントを行う。砂原理事もおっしゃっていましたが、みんなでやれば仲良くなるということで、イベントを企画する側も交流になるし、来てもらう人たちの交流にもなるしということで、二重の交流になるので、全員が参加できるようなイベントというのもいいと思いました。

福山／会員同士の交流について、せっかくこの協会に会費を払って入っていただいているので、退会者を出さないようにしなきゃいけないと思うところがあって、どうせなら仲間を作ってもらいたいという思いもあります。



理事 砂原 傑
株式会社砂原組一級建築士事務所

豊田／交流ということで、今までいろんなイベントを開催していますが、集まる事務所や人がいつも大体決まっています。

賛助会員部会が正会員と賛助会員の交流をということで、年に1回交流会をしてきましたが、実際には設計事務所は逃げ腰で、出席する人

は一部の人のみになっているというのが現実です。望んでいるのか、望んでいないのかというのがありますが、前のテーマの青年部会と同じように、人を集めるための仕掛けがいるのだろうと思います。

交流会を頻繁に開催すればいいのかもしれませんが、理事や委員会活動をされていない会員の人は、なかなか参加しにくいのではないのかと思っています。声を掛けないとなかなか参加していただけないので、賛助会員部会はメーカー営業の人が正会員事務所を回っていると思うので、そういった方たちに力を貸してもらって集まってもらうようなやり方等を考えていかないといけないのかもしれないかもしれません。

村田／会員交流のことで豊田会長に伺いたいのですが、例えばロータリークラブやライオンズでは食文化会や釣り同好会があったり、旅行に行ったりしています。会員の中で行きたい人は行きませんか、という形で参加者を募り、旅行の場合は会費を積み立てていたりしていると聞きました。

例えば1人~2人事務所も含め、企業に勤めている人の中には走ることが好きな人がいると思います。そういった方たちに平和マラソン等に出てもらい、ゼッケンの下に「広島県建築士事務所協会」と書いたものを着て出てくださいとお願いすれば走る広告塔にもなります。

共通の趣味で集ってもらい、そこで人を知ってもらおうというのも私はあると思っています。協会として同好会的なものを作ることが可能なのではないでしょうか。

豊田／私はいいと思っています。以前から言っているのは、理事会があって、その下に委員会がある。そこまではどうしても人数制限があるけれど、その下にたくさん部会があって、何かしらに入ってもらって活動をする。昔はソフトボール部もあって、私が入ったころはみんなソフトボールをやっていました。そういった発想を、例えば青年部会で提案をしてもらうのもありでしょう。

福山／会員同士の交流について、色々スキルアップや仕事に繋げるということもあるし、遊びの面についてもしっかりあった方が楽しく集まれるのかな、という感じがします。

社会貢献、建築士の地位向上

- ・士業としての地位向上、業務報酬の適正化
- ・情報発信アナウンスをもっと行う

村田／建築士の地位向上ということでは、弁護士・医師というのは明確な業務報酬が決まってい

ます。しかし、建築士事務所で業務を受けようとした時に、予算に対して設計料等をどれだけ切っていくかということになってしまっています。

高い所から下げていかないと仕事が取れない。仕事が取れないということは、会社が回らない。回らないということは廃業に繋がっていつてしまうので、例えば平和公園での清掃活動等の社会貢献をするのも大事ですが、建築士の重要性、地位の向上、そして業務報酬の適正化という、自分達に建築士として責任がこれだけあるのだから、それに見合った費用を貰わないと合いません、こういう基準で決まっていますと明確に言えるような情報発信をすることが一番重要なのではないかと考えています。

・地位向上を目指すのであれば、地域のために活動するべき

大旗／地位向上、社会貢献をしようと思ったら、地域のためにという大きな目的のもと活動していかないとならないと思うのですが、今の事務所協会にはそういう方向性があまりないように感じています。そういったことに力を入れていくなれば地位向上に対して活動していくこともできるでしょうし、社会貢献にも繋がっていくと思います。

砂原／建設業では地域の安心安全のため何ができるか、日頃からいろんな地域貢献を考えて皆さんされています。その中で官庁の工事では、地域貢献や創意工夫の項目を行うと加点がいただけることもあります。

他にも所属している団体では、建設現場の仮設看板へ学生に絵を描いてもらうという描画事業をやっています。建設にちなんだものを描いてもらい、それを最終的にはバスにラッピングして走らせるそうです。

学生にも興味を持ってもらい、魅力発信も含めて学生がいろんな絵を描く場を提供しています。

・建築士の仕事を出前授業などで子供たちへ伝える ・社会問題を取り上げて、専門家の立場から解説する

小西／地位向上になるのかどうか分からないんですけど、子供達に建築士ってどんな仕事か知ってもらおう。何か分からないものだったら評価もしようがないので、建築士というのを広く知ってもらって、建築士になりたいという人が増えていくというのも地位向上になると思います。社会インフラを維持していくためにも、設計という仕事は必要になってくるので、建築士の数を確保するということでも社会貢献に繋がると思います。

後は社会問題を取り上げて、最近だとマンションとかの維持修繕だとか、少し前は耐震の問題とかいろいろありました。それは行政とも絡んできますが、専門家の立場でいろいろ分析し、建築について街の人たちに解説することで信頼を得ていく。

建築士のできることで知識を提供することしかないと思うので、その専門知識を使って分かりやすく解説していくというのは社会貢献になると思います。

豊田／建築士の地位が低いというよりも、報酬が低いのが問題だと思います。

事務所協会というのは、任意加入の集まりなので入っていない人も当然いる。みんながバラバラにやっているから、安ければいいだろうとみんな足で引っ張り合いをしてしまって、今の報酬になってしまっている。地位については、全然知らない人でも先生と言ってくれる人はたくさんいるので、地位とはどういったものなのかと言う部分もあると思います。

社会貢献については、何をもって社会貢献なのか。街の清掃とか具体的なものはあるけれど、建築士事務所協会として何ができるのかと考えた時に、我々は物を作っているのでもなく、物を動かしているわけでもなく、ただ物の発想をしているグループになります。

例えば、まちづくりに対する提言であったり、行政に対して物を申す。我々からもまちづくり条例はこうやって出しませんか等、いろいろな提言をしていく。まちづくりでも空間をこういった形にしたら面白いのではないのでしょうか、という提案をこの協会からどんどんしていくことがまちづくりとしての社会貢献になるのではないのでしょうか。

また、今大きく問題になっている空き家対策でも、みんなで集まって協議して、市町にこんな案がありますが、どうでしょうか、と発信していくのもありだと考えます。

協会としてみんなで知恵を出すというのも一つの協会のあり方かと思います。勉強会グループを作って提案をする。勝手なお世話かもしれませんが、そういう勝手なお世話の提案をしていくことで、街がよくなっていけば、結果として社会貢献になるのではないのでしょうか。その結果、事務所協会はこんなことを考えているのかというのが、世



理事 小西 琢真
(株)小西建築設計事務所

間に回り回ってくれば、協会の魅力が上がっていくのかなという思いはあります。

協会発展の取り組み

- ・ 会員の増強無くして、協会の発展はない
- ・ 建築士事務所の意義等を個々の会社独自で行うのではなく、協会は、協会独自の発信の仕方があると思う

村田／協会発展の取り組みということでは、最初のテーマの会員増強です。会員が増えないと協会は発展しませんし、協会の魅力を発信して、より多くの事務所に入ってもらふこと。会員増強なくして協会の発展なしと思っています。

とにかく魅力ある協会にしていかなければなりません。協会活動の全てをさらけ出すわけではありませんが、発信をしていかないと発展は難しいと思います。

協会を知ってもらうための発信ツールはいろいろな方法があるのでどれが正解というのは無いですが、協会独自の発信の仕方があると思います。

- ・ 採用活動や社員教育、技術的な支援、見学会、講習会など、各社ではマンパワーが足りない分野への支援があるとよい

大旗／事務所それぞれが1社で扱うことが難しいことが山ほどある。そういった部分に力を支えてくれる方が事務所協会としてはいいのかなと思います。例えばリクルートのことや、社員の教育や技術的な支援だとか。

リクルートでいうと、合同企業説明会に事務所協会としてブースを出してもらって、そこに各事務所の案内を置いておいて、興味があったら事務所から連絡させますのでと名前と連絡先を聞いてもらえるだけでもすごく助かる。



情報・編集委員長 福山 雅也
アクア建築設計㈱

その他にも、若手スタッフに実務の基礎を教える勉強会や、中堅スタッフにチームのマネジメントを教える講習会を実施したり、起業したての事務所に会社運営について語り合う機会をつくったり。事務所協会だからこそできることはたくさんあると思います。各々で頑張っている

設計事務所を後ろから支えてくれるような、地道な活動を続けていくことが大切なのだと思います。

- ・ 建築士の魅力発信、若手建築士を育てる取り組み

砂原／1人でやられてる方や、年を重ねて閉めてしまう事務所も多いのかなと感じました。若手を育てるような取り組みとか魅力発信などをやっていってもいいんじゃないのかなというのは感じました。

- ・ 設計事務所が結束するための中心的役割を担うとともに一般消費者の声に応えることで存在感を高める

小西／協会となると設計事務所が結束するための場所というのが第一義と思っています。次に消費者の方が、これはどういうことなのかとか、いろいろ疑問に思っていること、設計者に聞きたいことに答えていけば知名度も上がってくると思いますし、そういうことが協会の発展に一番繋がっていくのかなと。

建築士同士の懇親や建築士の地位向上というのは建築士会でも話題になっていますが、行政に対する提言や採用活動は、やはり事務所協会ならではのことと思います。

福山／建築の団体を見た時に、建築士会、建築家協会、建築士事務所協会と色々な団体があって、それぞれがどんなことをしているのか一般の人から見ると何が違うのかよく分からなくて。そんな中で事務所協会ならではのできることで、取り組みというのを考えていく必要があるのかなと思うのですが。

豊田／発展というのは結果であって、いい意味で社会貢献などの活動を踏まえた結果、最終的に発展という形で現れることです。発展ありきで目指そうと言っていたら事務所協会としてはよくない方向に行きやすいです。一番大きなのは今言った社会貢献的なところというのは大事にしなければいけないことだと思います。

福山／本日はいろいろと貴重なご意見ありがとうございました。

昭和56年5月31日以前建築の木造一戸建てにお住まいの方へ  広島県

様々な用途で利用できる、

補助金最大
100万円

耐震改修補助金 をご活用ください!

期限があるので
お早めに!

リフォームに併せた耐震改修

建て替え

建て替え引っ越し

解体・撤去

etc...



広島県では、地震による住宅の倒壊等の被害を防止するため、耐震改修に係る費用の一部を補助する制度を各市町とともに創設しています。耐震化に関する工事であれば、リフォームに併せた耐震改修、建て替えなどにも利用できますので、ぜひご活用ください。

補助・対象について



補助金最大
100万円

- 申請者が所有又は居住しているものであること。
- 昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅であること。
- 地階を除く階数が2以下であること。
- 構造は在来軸組構法又は伝統的構法であること。
- 現に居住の用に供するもので、販売を目的とするものではないこと。
- 耐震診断をした結果、耐震基準を満たしていないもの。

活用例

- リフォームに合わせて耐震改修をしたい。
- 老朽化した住宅を建替えたい。
- 郊外の住宅を解体して、便利の良い場所に転居したい。
- 誰も住まなくなりそうなので、解体したい。
- 中古住宅を購入し、耐震改修をして住みたい。 etc...



※施工内容により補助金額は異なります、詳しくはお住まいの市町窓口やホームページでご確認ください。

補助の流れ

①耐震診断

工務店・設計事務所などに診断を依頼・実施します。
※補助制度のある市町があります。

②補助申し込み

お住まいのある担当窓口へ申し込みます。審査通過後に決定通知書を交付します。

③工事契約・着手

施工者と契約、工事着手後、担当窓口に必要な書類を提出します。

④報告・お支払い

工事完了後、必要書類を提出いただき、審査完了後、請求により補助金が支払われます。

ご不明な点はお問い合わせ、またはホームページをご覧ください。



広島県土木建築局 建築課 建築安全担当

広島県 耐震化総合窓口  検索

☎082-513-4133 FAX 082-223-2397 ✉dokenchiku@pref.hiroshima.lg.jp



7 建築物・住宅の耐震化の促進

1 ねらい

大規模地震発生時において倒壊により多数の死傷者が発生する恐れがある大規模建築物、早期の救助・復旧活動に関係する広域緊急輸送道路沿道建築物、居住者の生命、身体及び財産の保護に重要な住宅について、建築物所有者のコスト低減につながる支援を行うことにより、これら耐震化の促進を図る。

2 事業の概要

(1) 大規模建築物

民間建築物所有者による耐震改修（建替・除却を含む。）を支援する市町への補助を行う。

【対象】 不特定多数の者が利用する建築物及び避難弱者が利用する建築物等のうち一定規模[※]以上のもの（ただし、昭和56年5月以前に着工された建築物に限る。）

※ 店舗やホテルの場合、3階（地階を含む。）以上、かつ床面積の合計5,000㎡以上

(2) 広域緊急輸送道路沿道建築物

耐震診断を行う民間建築物所有者への補助、民間建築物所有者による耐震改修（建替・除却を含む。）を支援する市町への補助を行う。

【対象】 広島県緊急輸送道路ネットワーク計画に定める緊急輸送道路のうち、広域的な災害支援に資する路線の沿道建築物で、道路閉塞を引き起こす高さがあるもの（ただし、昭和56年5月以前に着工された建築物に限る。）

(3) 住宅

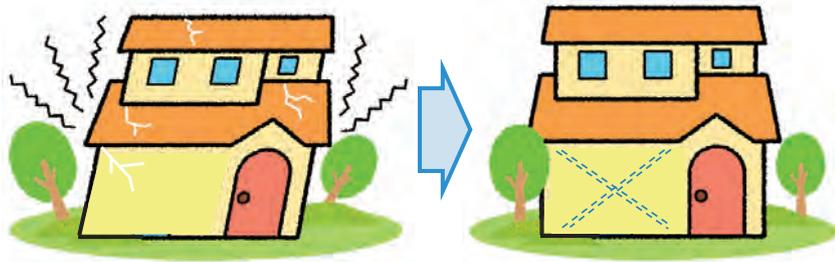
民間住宅所有者による耐震改修（建替・除却を含む。）を支援する市町への補助を行う。

【対象】 木造戸建住宅（ただし、昭和56年5月以前に着工されたものに限る。）

※対象予定市町名

広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、庄原市、大竹市、廿日市市、安芸高田市、海田町、坂町、神石高原町（以上14市町）

対象市町が増えました



耐震改修による補強のイメージ

3 令和5年度の予算額

（単位：千円）

区 分	事 業 内 容	予 算 額
大規模建築物の耐震化の促進	所有者による耐震改修を支援する市町への補助	1, 338
広域緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進	所有者による耐震改修を支援する市町への補助	184, 481
	耐震診断を行う所有者への補助	2, 271
住宅の耐震化の促進	所有者による耐震改修を支援する市町への補助	75, 000
合 計		263, 090

人、街、そして笑顔を共に創る



広島支店

〒731-4311 広島県安芸郡坂町北新地4丁目2番30号
TEL. 082-885-3411 FAX. 082-885-3400

本社 / 広島県尾道市東尾道4番地1

支店 / 尾道・広島・福山・岡山

営業所 / 松山・備北・山口・山陰・鳥取・東京・福岡

Web / <https://amano-web.co.jp/>

建設資材の総合販売及施工

- 杭地業：既製杭・鋼管回転埋設杭・地盤改良・地質調査
場所打杭・各種認定工法・杭引抜き工事・土留工事
- 外装工事：ALC(旭化成建材)・押出成形セメント板(ノザウ)
ラムダ(神島化学工業)
窯業系サイディング(KMEW・ニチハ)・屋根工事
- 住設工事：ユニットバス・キッチン・洗面化粧台(タカラ・TOTO・LIXIL他)
介護用ユニットバス(積水ホームテクノ・大和重工)
- その他工事：日鉄物産システム建築・大断面集成材構造
人工木材(ウッドデッキ・ルーバー)・プール・エレベーター
- 外構工事：膜屋根・アルミハニカムパネル・雨水貯溜槽・駐車場緑化
CO₂対策型コンクリート製品・ストリートプリント
フェンス・門扉(引戸)・シェルター(通路上屋・駐輪場)

矢作建設グループには全国で4300件以上の耐震補強実績があります。



公共施設
ピタコラム



住宅
セスレット



オフィス
制震ピタコラム



ピタコラム工法

- 建物を使用しながら工事が可能
- 高層建築物に対応
- 眺望・採光を確保

矢作建設工業株式会社
www.yahagi.co.jp

広島支店 〒732-0052 広島市東区光町1-9-28 第一寺岡ビル7階
TEL:082-264-6680 FAX:082-264-6683

〈営業品目〉

杭打工事・サッシ工事・ALC工事/合板・新建材・住宅機器

合成樹脂原料・樹脂製品/IBM OA機器・システム開発

建設資材の総合商社

光和物産株式会社

広島支店 / 〒733-0001 広島市西区大芝2丁目10番23号

TEL (082) 230-1855(代) FAX (082) 230-1866



アウトドアライトの
さらなる高みへ

ZERO
LANDSCAPE LIGHTING ZERO
3rd generation



<https://www.lighting-daiko.co.jp/>

大光電機株式会社 / 広島営業所

Tel.(082)247-6711 Fax.(082)249-5472 〒730-0811 広島市中区中島町3-25 ニッセイ平和公園ビル8F



<月 間 行 事>

令和5年1月1日～令和5年2月28日

- 1月4日 広島商工会議所・新年互礼会 於：リーガロイヤルホテル広島 衣笠名誉会長理事出席
- 1月11日 広島県建築相談 於：広島県消費生活課 苗村住宅委員出席
- 1月13日 令和5年新年互礼会
於：リーガロイヤルホテル広島 来賓29名・正会員67名・賛助会員75名出席
- 1月16日 建築物耐震診断等評価委員会（書面開催）
- 1月17日 総務渉外委員会
情報・編集委員会
- 1月18日 DAIKENパブリックフェア バスツアー（大建工業(株)中国支店）
於：岡山コンベンションセンター 10名出席
- 1月19日 広島商工会議所・建設業の諸課題に関する国土交通省との意見交換会の事前勉強会
於：広島商工会議所 衣笠名誉会長理事・小笠原業務委員長・西隈業務副委員長出席
マンション計画修繕部会
（一社）日本電設工業協会中国支部・（一社）広島県電業協会新年名刺交換会
於：リーガロイヤルホテル広島 河合副会長出席
- 1月20日 技術委員会
- 1月23日 都市環境委員会
- 1月24日 教育委員会
会員交流委員会
- 1月25日 （一社）広島県設備設計事務所協会新年互礼会
於：ANAクラウンプラザホテル広島 福山副会長出席
- 1月26日 広島市住宅相談 於：広島市役所 立石指導委員長出席
特定建築物定期調査業務スキルアップ講習
於：建築サロン 4名出席
- 1月27日 賛助会員部会
- 1月28日 建築物耐震診断等評価委員会
- 1月30日 住宅委員会
- 1月31日 業務委員会
- 2月1日 広島県建築相談 於：広島県消費生活課 苗村住宅委員出席
- 2月2日 青年部会
- 2月3日 中国地方建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会（WEB） 河原専務理事出席
簡易な省エネ適合を学ぶ講習会・相談会
於：広島県情報プラザ 長谷川職員出席

- 2月7日 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会 (WEB) 39名出席
- 2月8日 特定建築物定期調査業務スキルアップ講習 (受講区分C)
於：建築サロン 4名出席
- 2月9日 総務渉外委員会 (書面開催)
日事連会誌編集専門委員会 (WEB) 福山副会長出席
- 2月10日 広島商工会議所・常任委員会 於：広島商工会議所 衣笠名誉会長理事出席
正副委員長会議 於：ホテルメルパルク広島
- 2月14日 管理建築士講習 於：建築サロン 8名出席
- 2月15日 建築士事務所全国大会鳥取・島根大会運営特別委員会 (WEB) 村田理事出席
情報・編集委員会
- 2月16日 第11回ひろしま建築文化賞第1回審査委員会
- 2月17日 三役会・理事会 於：広島商工会議所
- 2月20日 既存住宅状況調査技術者更新講習
於：建築サロン 1名出席
- 2月22日 広島市住宅相談 於：広島市役所 立石指導委員長出席
開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会 (WEB) 11名出席
日事連総務・財務委員会 (WEB) 福山副会長出席
- 2月28日 令和5年第1回日事連中四国ブロック協議会会長会議
於：ラヴィール岡山 豊田会長・福山副会長・河原専務理事・大木事務局長出席

＜ 今後の行事予定 ＞

- 3月1日 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会
於：広島商工会議所
- 3月3日 第11回ひろしま建築文化賞現地審査
13日
- 3月15日 実務者のための設計・監理契約講習会 (会場・WEB併用開催)
- 3月23日 第11回ひろしま建築文化賞第2回審査委員会
- 3月24日 三役会・理事会
- 4月27日 三役会・理事会
- 5月26日 広島県建築士事務所政経研究会令和5年度通常総会
(一社)広島県建築士事務所協会令和5年度定時総会・懇親会
(一社)広島県建築士事務所協会賛助会員部会事業報告会
於：リーガロイヤルホテル広島

令和5年新年互礼会 開催報告

協会事務局

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い開催を中止していました新年互礼会が、令和5年1月13日（金）リーガロイヤルホテル広島に於いて3年ぶりに開催されました。

ご来賓には、岸田文雄内閣総理大臣令夫人岸田裕子様、湯崎英彦広島県知事、松井一實広島市長、小林秀矩広島県議会議員代理、山木茂広島県議会議員並びに国・県・市の建築行政機関、建築関係団体、業界マスコミ関係者等多数の方々、総勢170名の参加者のもとに盛大に開かれました。

豊田会長は年頭の挨拶で、「社会全体が働き方改革やDXの推進など将来に向けて大きな変革期を迎えている中で、建築設計業界を取り巻く環境は、引き続き厳しいものである。経済動向の先行きの不透明感をはじめ、若者の業界離れの顕在化や後継者不足、さらには設計業務の多様化複雑化など、個々の建築士事務所では対応が困難な大きな課題に直面している。事務所協会として、建築士事務所の健全かつ持続可能な運営を、様々な面から後押しできるよう積極的に事業活動し、これまで以上に皆様の声に耳を傾け、建築士事務所にとって頼りになる協会づくりを目指していく。」と述べました。引き続き、岸田裕子令夫人、湯崎英彦広島県知事、松井一實広島市長、小林秀矩広島県議会議員代理、山木茂広島県議会議員から当協会への期待を込めた丁寧なご祝辞をいただきました。

井本健一広島県建築士会会長による乾杯のご発声で祝宴に入り、令和4年に新たに入会された新会員のご紹介など、皆様の和やかな雰囲気のもと、県内の建築設計関係者が活気あふれる年になるよう、新年の決意を新たにお互いの飛躍、発展を誓い合いました。

小林秀矩広島県議会議員による中締めあいさつ、そして当協会 倉田洋二副会長の閉会挨拶により、盛会裡に終えることができました。御参加いただいた皆様に感謝を申し上げますと共に、運営にあたりご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



新年の挨拶を行う豊田会長



倉田副会長による閉会の挨拶

祝辞をいただいた御来賓の皆様



岸田裕子令夫人



湯崎英彦広島県知事



松井一寛広島市長



小林秀矩広島県議会議長代理



山木茂広島県議会議員



井本健一建築士会会長による乾杯のご発声



令和4年新入会員の皆様

技術委員会、賛助会員報告 大建工業パブリックフェア見学報告

賛助会員
株式会社中建日報社 和木一徳

1月18日、岡山市北区の岡山コンベンションセンターで行われた「DAIKENパブリックフェアin岡山」へバスツアーを企画し、広島と福山から正会員10名が参加しました。本ツアーでは移動中の車内と現地で新製品・新工法などの見学やCPD対象の「非住宅の内装木質化の効果と実証実験」「音の基礎知識の再確認とCLTの音の問題点」など4セミナーを受講しました。

会員らのほか約30人が受講したセミナー「快適な室内温熱環境と暖冷房システム」では、大建工業の担当者が宇部市新庁舎1期棟などにも採用されている『ユカリラ』を紹介。受講後、床から足裏に伝わる温冷感と部屋全体が均一な温度であることなどを体感しました。体験中には、床材をめくり床下のつくりや空気の流れの説明を受けたり、「新築だけでなくマンションの大規模修繕などにも取り入れられるのか」と質問などもあり、今後の設計提案に取り入れようと熱心に勉強されていました。

また、移動中の車内であらかじめ視聴していた新耐震天井工法「ダイケンハイブリッド天井」の実物を会場にて見学しました。その後も他の展示や協賛企業の新製品などを興味深く見て回り知識の習得に努めていました。

参加者は「セミナーや見学会はコロナでオンラインが増えたが、今回、会員が集まり実物を見学できたのはよかったと思う。画面越しではなく確認してみることで知識もより深まる」との感想がありました。

大建工業様、この度はどうもありがとうございました。



参加者の皆様



会場のコンベンションセンター



おもいやリアシストドア



DAIKEN畳健やかくん



暖冷房システム
ユカリラ





令和5年度

日事連建築賞 作品募集

応募締め切り：
4月24日(月)



写真上：令和4年度 国土交通大臣賞受賞作品「阿波銀行本店営業部ビル」(株)日建設計一級建築士事務所 / 写真下：令和4年度 日事連会長賞受賞作品「上有住地区公民館」PERSIMMON HILLS architects

すぐれた建築作品を設計した建築士事務所を表彰します。

増改築・改修等の建築物も対象になりますのでぜひご応募ください。

建築士事務所協会の会員が対象ですが、会員でない方も、第1次審査で第2次審査候補作品に選考された後の入会を条件に応募いただけます。

■表彰

国土交通大臣賞 1点 [賞状、記念品および賞金]

日事連会長賞 1点 [賞状、記念品および賞金]

・一般建築部門 (延面積が1,000㎡を超え20,000㎡以下の建築物)

優秀賞 3点内外 [賞状および賞金]

奨励賞 5点内外 [賞状]

・小規模建築部門 (延面積が1,000㎡以下の建築物、戸建住宅を含む)

優秀賞 3点内外 [賞状および賞金]

奨励賞 5点内外 [賞状]

■審査員

委員長：松村 秀一 [東京大学特任教授]

委員：石坂 聡 [国土交通省大臣官房審議官]

伊藤 香織 [東京理科大学理工学部教授]

加茂紀和子 [株式会社みかんぐみ一級建築士事務所]

中谷 正人 [建築ジャーナリスト]

原田 真宏 [芝浦工業大学建築学部教授、
株式会社マウントフジアーキテクトスタジオ一級建築士事務所]

丸川 眞太郎 [日事連前副会長、株式会社丸川建築設計事務所]



〈受賞記念品〉
ブロンズ製 三角スケール

■お問い合わせ： 一般社団法人
日本建築士事務所協会連合会
Japan Association of Architectural Firms

電話：03-3552-1281
Mail：sysop@njr.or.jp

www.njr.or.jp



※詳細は募集要項をご覧ください。但し、一部の建築士事務所協会では、応募締め切り日や提出書類が募集要項と異なる場合があります。応募前に必ず地元の建築士事務所協会にご確認ください。

令和5年度日事連建築賞

【募集要項】

1. 目的

本表彰は、すぐれた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより建築士事務所の資質の向上に資することを目的とする。

2. 募集対象

- (1) 建築作品の対象地区
日本国内とする。
- (2) 対象建築作品
建築士事務所が一般的に手がけている中小規模の建築作品（新築にかかわらず増改築、改修等を含む）で、令和2年から令和4年3月31日までの期間に竣工（竣工の日が検査済証の交付日とする）したもので、竣工後の増改築等も含め法令が遵守され、構造上、防災上の安全性を備えた建築物とし、次の部門毎に募集する。ただし、本連合会が主催した建築作品表彰に一度応募した作品については対象としない。また、応募にあたっては本募集要項に記載されている事項を含め、建築主等の了解を得たものとする。

①一般建築部門

- (延面積が1,000㎡を超え20,000㎡以下の建築物)
- ②小規模建築部門
(延面積が1,000㎡以下の建築物：戸建住宅を含む)

3. 応募資格者

- (1) 単位会（本連合会正会員である都道府県建築士事務所協会をいう）に所属する建築士事務所（以下、単位会会員という）とする。
- (2) 応募時点で単位会会員でない者は、5.(1)に規定する第1次審査で第2次審査候補作品に選考された後速やかに単位会に入会申請することを条件とする。
- (3) 特定共同企業体（JV）の場合は、その代表者が単位会会員または応募時点で単位会会員でない者は、3.(2)の条件とする。

4. 応募の手続き

- (1) 応募作品数
1 建築士事務所につき一般建築部門、小規模建築部門いずれか1点とする。
- (2) 提出書類等
 - ① 応募申込書（別記様式1）
 - ② 建築作品説明書（別記様式2）
 建築作品説明書には、1,200字以内に設計意図及び審査基準の項目について配慮した内容等を記載する。配置図と主要階平面図等をA4サイズ黒5枚以内で添付すること。
 ただし、新築以外の作品を応募する場合は、改修前後が比較できる図面及び写真を含めA4サイズ白黒10枚以内で添付し、建築作品説明書には構造上配慮した点についても記述すること。
 ③ パネル1枚（A1縦長サイズ、縦841mm×横594mm）及びそのカラー縮小版コピー用紙1枚（A3サイズ）
- 1) パネルに建築作品名称、設計意図、配置図、主要階平面図（縮尺は適宜）及び写真

真（枚数は適宜）を納める。設計意図等については、建築作品説明書の概要を400字以内にまとめる。

- 2) パネル、建築作品説明書及び図面等に応募者（建築士事務所名）を表示してはならない。

④ 検査済証の写し

検査済証の交付された建物を基本とするが、用途変更や増築・改築等で確認申請を要しない作品においては、検査済証が無い理由を明記の上、竣工日及び延面積がわかる書類を別途添付すること。

⑤ 最寄り駅から建設地までの案内図（書式任意）

- (3) 提出書類等の扱い
提出された資料及び写真については、受賞作品の公表の際に一切の使用制限を受けないことを応募の条件とする。
- (4) 応募費用
応募に要する費用は、応募者の負担とする。なお、提出された書類等のうちパネルについては表彰後に返還する。（返還費用については本連合会が負担する）
- (5) 応募期限及び提出先
応募しようとする者は、令和5年4月24日（月）までに建築士事務所が所在する都道府県の単位会事務局に応募手続きをしなければならない。

5. 選考の方法及び第2次審査候補作品応募数

- (1) 第1次審査（単位会に応募された建築作品の審査）
単位会に応募された建築作品が日事連建築賞の募集対象建築作品であること及び応募資格、応募に係る提出書類等を確認し、日事連建築賞の審査基準を考慮のうえ、厳正な審査を行い、募集要項をすべて満足する第2次審査候補作品を選考する。
- (2) 第2次審査候補作品応募数
単位会が選考する第2次審査候補作品の数は、当該単位会の会員数が500事務所以内は一般建築部門及び小規模建築部門それぞれ1点ずつとし、会員数が500事務所を超える単位会にあつては、会員数500事務所以内毎に一般建築部門及び小規模建築部門にそれぞれ1点ずつ加えることができる。また、一方の部門に応募がなく、別部門に上記の第2次審査候補作品応募可能数より多く応募があつた場合については、1点のみ加えることができる。なお、単位会の会員数は、本連合会に報告がなされた令和5年3月31日時点のものとする。
- (3) 第2次審査
第1次審査で選考された第2次審査候補作品について、本連合会内に設置する「日事連建築賞選考委員会」において、書類審査を行い合議に基づき、部門毎のそれぞれの表彰対象作品を選考する。選考された作品のうちから国土交通大臣賞候補、日事連会長賞候補、優秀賞候補及び奨励賞候補を選考し、現地審査のうえ、それぞれの部門毎の受賞候補作品を決定する。なお、現地審査の際には設計者の立会いを求めるほか、必要に応じて書類、図面等の提出を求める場合がある。ただし、優秀賞、奨励賞については、書類審査によって受賞候補作品を決定することができる。
- (4) 受賞者の決定
受賞者は、「日事連建築賞選考委員会」の選考結果に基づき、本連合会の理事会の議を経て会長が決定する。

6. 表彰及び公表

(1) 表彰

①表彰の種類と数

国土交通大臣賞	1点(予定)
日事連会長賞	1点
(一般建築部門)	
優秀賞	3点内外
奨励賞	5点内外
(小規模建築部門)	
優秀賞	3点内外
奨励賞	5点内外

②国土交通大臣賞、日事連会長賞の各受賞者には賞状・賞金及び記念品(ブロンズ製・三角スケール)を、優秀賞の受賞者には賞状と賞金を、奨励賞の受賞者には賞状をそれぞれ贈る。

(2) 公表

- ①受賞者が決定したときは、本連合会または単位会から受賞者に通知する。
- ②受賞者は本連合会からの求めに応じ、公開用の写真を提出すること。
- ③本連合会は本会誌、ホームページ、新聞、雑誌等に提出された書類及び写真等を公表する。その際、クレジット表記は行わない。また、版權等のための料金は支払わない。なお、公表する際の受賞事務所名については、他受賞事務所名と表記方法を合わせることで、本連合会に一任する。
- ④表彰は、令和5年10月13日(金)に開催される第45回建築士事務所全国大会(鳥取・島根大会)において行う予定である。

7. 審査基準及び表彰基準

(1) 審査基準

一般建築部門及び小規模建築部門に応募された、第2次審査候補作品のうち、以下の観点を総合的に判断し、それぞれの対象となる賞を選考する。

- ①意匠、構造、機能上優れていること。
- ②防災上、安全上、維持管理上十分配慮されていること。
- ③ユニバーサルデザインに十分配慮されていること。
- ④周辺地域の景観形成やまちづくりに配慮されていること。
- ⑤地球環境維持への配慮がされていること。

(2) 表彰基準

①国土交通大臣賞
一般建築部門及び小規模建築部門の両部門を通じ、審査基準に照らし総合評価が最も優秀な建築作品とする。

②日事連会長賞

一般建築部門及び小規模建築部門の両部門を通じ、審査基準に照らし総合評価が国土交通大臣賞に次ぐ特に優れた建築作品とする。ただし、国土交通大臣賞を受賞した部門は除く。

③優秀賞

一般建築部門及び小規模建築部門のそれぞれにおいて、審査基準に照らし総合評価が国土交通大臣賞、日事連会長賞に次ぐ優れた建築作品とする。

④奨励賞

一般建築部門及び小規模建築部門のそれぞれにおいて、審査基準に照らし総合評価が優

秀賞に次ぐ建築作品とする。

8. 日事連建築賞選考委員会委員

委員長	松村 秀一	東京大学特任教授
委員	石坂 聡	国土交通省大臣官房審議官
委員	伊藤 香織	東京理科大学理工学部教授
委員	加茂紀和子	㈱みかんぐみ一級建築士事務所
委員	中谷 正人	建築ジャーナリスト
委員	原田 真宏	芝浦工業大学建築学部教授、 ㈱マウントフジアーキテクツスタジオ一級建築士事務所
委員	丸川眞太郎	日事連前副会長、㈱丸川建築設計事務所

正会員の皆様に朗報！

法律相談窓口（無料）が、
ますます便利に！



これまでは、**建築設計・工事監理業務に限定**

これからは、なんでも相談OK！

建築士事務所のための法律相談窓口

法律関係のことでお困りの方、当協会の委託法律事務所
が無料で相談に応じます。

- ※ 協会正会員に限ります。
- ※ 面談による相談です。（原則、電話による相談はできません）
- ※ 面談場所は、委託法律事務所内（広島市、尾道市、大竹市）です。
- ※ 相談に限り無料です。
解決に向けて事件の受任を依頼する場合は有料です。
- ※ 委託法律事務所と利害関係のある案件を除きます。
- ※ 相談については法律事務所限りとし、事務所名や相談内容の詳細については事務所
協会への報告はありません。



まずは、気軽に法律事務所へご一報を！

《連絡先》

弁護士法人広島みらい法律事務所
(協会委託法律事務所)

電話 082-511-7772 受付時間 9:00~18:00(平日)



※ 電話の際、「当協会の法律相談」である旨、「当協会会員」である旨
お伝えください。

お役に立ちます!! 賛助会員事務所紹介 

事業所名	(株)きんでん中国支社			
住 所	広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ13F			
連絡先	電 話	082-569-6202	メール	gouda_koutarou@kinden.co.jp
事業内容	電気工事、管工事、電気通信工事			
	担当者プロフィール			
	氏 名	合田 孝太郎	出身地	岡山県玉野市
	趣味・特技	ゴルフ、ショッピング		
	座右の銘	日是好日	私のおすすめ	一ノ口十ノ口（中華そば）
電気工事、管工事、ならびに電気通信工事をさせていただいております。				
会社創業の昭和19年より広島営業所（現在の中国支社）を開設しており、古くは海軍関係の仕事を契機にコンビナート関連のプラント工事を得意としております。近年では、ゼネコン組下のビル、工場案件等の建設工事を中心に多岐にわたり施工しております。				

事業所名	クマリフト(株)広島営業所			
住 所	広島県広島市東区牛田旭2-6-24 202号室 （2月16日移転）			
連絡先	電 話	082-228-5344	メール	y-kishimoto@kumalift.co.jp
事業内容	小荷物専用昇降機、中・大型の荷物用・人荷用エレベーターの製造・販売・維持管理			
	担当者プロフィール			
	氏 名	岸本 祥紀	出身地	大阪府高槻市
	趣味・特技	パソコン・ガジェット関係		
	座右の銘	すぐ対応	私のおすすめ	当社HPエレベーターの部分
クマリフトの小荷物専用昇降機は、カメラ+タッチパネル付きディスプレイを搭載した操作盤を採用しています。他の階の様子を確認しながら荷物を運ぶ事ができる、使われる方のニーズをもとに開発された製品です。又、標準機能で、良く触れる部分に抗菌・抗ウィルス処理が施してあり、衛生的に安心してお使い頂けます。				

事業所名	ケイミュー(株)広島営業所			
住 所	広島市中区中町7-1			
連絡先	電 話	082-245-0354	メール	wakimt-k@kmew.co.jp
事業内容	屋根材・外壁材の開発・製造・販売と雨とい（パナソニック製）の販売を半世紀にわたり扱ってきた住宅建材メーカーです。			
	担当者プロフィール			
	氏 名	脇本 浩司	出身地	広島県広島市
	趣味・特技	晩酌		
	座右の銘	人間万事塞翁が馬	私のおすすめ	弊社外壁材：光セラ
安心・安全で高耐候・長寿命の建築物を外装側から貢献する商品開発・技術革新・販売を目指しております。環境にも配慮し、リサイクルシステムを積極的に配慮する取り組みを行っています。				

事業所名	(株)ケイテン			
住 所	広島市安佐南区西原2-33-37			
連絡先	電 話	082-874-3411	メール	ts-harayama@keiten.jp
事業内容	軽量天井下地 間仕切下地 床下地 各種仕上貼（ボード仕上げ等）工事			
	GL工事 アルミ成形板工事 ウレタン吹付け グラスウール断熱工事			
	担当者プロフィール			
	氏 名	原山 智行	出身地	
	趣味・特技			
	座右の銘		私のおすすめ	
<p>弊社は社名「ケイテン」のとおり、内装工事の中でも軽天工事に特化した会社です。</p> <p>創業者である原山年行が、内装工事における「軽量鉄骨」と「石膏ボード」の優位性をふまえ、昭和47年に内装仕上工事業を始めました。創業50年を超える実績とノウハウでお客様のご要望にお応えいたします。</p>				

事業所名	(株)広栄工業所			
住 所	広島市中区白島北町1-50			
連絡先	電 話	082-228-2568	メール	gonsige2020.04@bagil.ocn.ne.jp
事業内容	鋼製建具販売・施工			
	担当者プロフィール			
	氏 名	権随 繁徳	出身地	山口県
	趣味・特技	ゴルフ		
	座右の銘	進退は命に従い栄智は天に聞け	私のおすすめ	宝剣（呉市宝剣酒造）
<p>弊社は昭和38年創業で広島でアルミサッシの先駆けです。長年の実績と数多くの経験から施工技術及び製品の知識は自信を持っております。これからも多くの皆様に培った経験と知識技術で貢献したいと思います。</p>				

事業所名	光和物産(株)広島支店			
住 所	広島市西区大芝2-10-23			
連絡先	電 話	082-230-1855	メール	kakihara@kowabussan.co.jp
事業内容	各種杭工事、地盤改良、地質調査、メース・スレート工事、ALC工事			
	住宅建築資材販売、住宅設備機器販売、各種合板類販売等			
	担当者プロフィール			
	氏 名	垣原 義尚	出身地	広島県福山市
	趣味・特技	読書・ゴルフ		
	座右の銘	天網恢恢疎にして漏らさず	私のおすすめ	健康のためのウォーキング
<p>1) 親切丁寧：他人に親切にして誠実に働こう。</p> <p>2) 能率向上：自分の力を最大限に発揮しよう。</p> <p>3) 連絡協調：二人で三人分の力を出そう。</p> <p>社長方針の元、社員一同地域の皆様に貢献できるように頑張っていきます。</p>				

正会員事務所紹介 うち、来てみんさい!

事務所名	株式会社ダイサン一級建築士事務所	開設者	峠元 幹也	開設年	1994年
住所	廿日市市阿品台2-16-12			地区	広島
得意としている分野	ポイドスラブ・太陽光発電事業	HP	https://www.daisun-web.com/		
<p>廿日市市に事務所を構えて29年になります。</p> <p>広島本社では、ポイドスラブ事業を中心に事業をさせて頂いております。</p> <p>東京支店では、太陽光発電事業に力を入れており大企業に負けないフットワークの良さを活かして日本全国、海外にも案件調査に赴きます。</p> <p>また、「女性の活躍できる環境をもっともっと広めていきたい」という思いから、2022年春より女子硬式野球チーム『はつかいちサンブレイズ』を立ち上げ、活動しております。10月からは球場敷地内に『サンブレイズカフェ』をオープンしました。選手たちが、おいしいコーヒーなど提供していますので、ぜひお立ち寄りください。</p> <p>(ホームグラウンド：佐伯区杉並台64-6)</p> <div style="text-align: right;">   </div>					

事務所名	株式会社田原泰浩建築設計事務所	開設者	田原 泰浩	開設年	2008年
住所	広島市中区榎町1-22			地区	広島
得意としている分野	住宅・福祉施設・BIM	HP	www.yasuhirotahara.jp		
<p>弊社は2008年設立、2020年法人化した意匠系設計事務所です。</p> <p>主に住宅、福祉施設を中心に店舗や工場など新築から改修まで幅広く活動しております。お客様の要望にしっかり寄り添りながら建築の機能と一体化したデザインを生み出すことに注力しております。設計ツールとして早くからBIMを取り入れており設計段階から3Dモデルをグラフィカルにご提示することを得意としております。またBIMを広めていくヒロシマBIMゼミという活動にも参画しております。その流れで広島工業大学で非常勤講師をしたり、使用しているBIMソフトの勉強会を定期的で開催したりしています。それらの技術を使いながら快適で豊かな建築を社会に提供する設計事務所を目指しています。</p>					



エスケー化研の製品は建築物の資産価値向上に貢献します



耐火塗料
SKタイカコート



不燃断熱材
セラミライトエコG



内装用汚染防止エマルジョン塗料
セラミフレッシュIN



水性厚膜型特殊合成樹脂系塗床材
SKスペシャルフロー



建築仕上材の総合メーカー

エスケー化研株式会社

エスケー化研ホームページ

www.sk-kaken.co.jp

TEL:082-943-5043 FAX:082-943-5036

広島支店：広島市佐伯区五日市港2-1-5

美和ロック・HORIロック 広島地区代理店

梅田株式会社

〒733-0815 広島市西区己斐上4丁目31番2号

TEL082-507-1191(代)・507-1189



露出型弾性固定柱脚工法

ISベース

<http://www.isbase.jp>

(財)日本建築センター評定/国土交通省大臣認定



有限会社 キョウヤマ

本社

広島市西区中広町2丁目14-21

TEL (082) 532-3067

松山営業所

愛媛県東温市則之内乙2575-7

TEL (070) 5513-0342

高松営業所

香川県高松市瓦町1丁目9-20

TEL (087) 842-1668

エレベーター・リフト・身障者用昇降機・テーブルリフター・昇降機設備



日本エレベーター協会会員

大成リフト製造株式会社

本社/広島市南区上東雲町19番2号 TEL (082) 284-0331(代)

FAX (082) 284-0370



第116回

「私と茶道との出会い」

プロフィール

茶道裏千家 清風庵 庵主
一般社団法人茶道裏千家淡交会
終身師範会員（広島第二支部所属）

（株）坂内建設一級建築士事務所
（情報・編集委員会青年部会長）

おだて みちひろ そうどう
尾立 道泰 茶名：宗道



平成9年～12年 広島市内の茶道教室に通う。
平成20年～現在 母である尾立宗穂に師事。
令和元年12月 一般財団法人今日庵より専任講師の資格を得る。
令和4年12月～現在 北野宗道名誉師範に師事。

茶道との出会いは、大学生の頃に遡る。母がお茶を嗜んでおり石見授産所でボランティア茶会を年1回程度開催していた。そこに荷物運びに駆り出されたのが、記憶の中にある茶道との出会いである。

それから、別のお茶会でも荷物運びを手伝わされているうちに、荷物運び以上の手伝いに興味を持ち始めるものの、社会人になり仕事も忙しくなり、茶道への興味は薄れていく。結婚してから、夫婦で茶会の手伝いに駆り出された時に、何も出来ないことに悔しさを感じ、お茶を習うことを決意。師弟関係が無い気軽に通える教室があるとのことで、そこに通うことにした。先生たちも優しく、楽しく通った教室は日頃の忙しさを忘れ、とても貴重な時間であったが、その教室は3年で閉鎖され、茶道とは縁遠くなっていった…。



その後、平成20年に茶会の手伝いをしたときに、母に経験者である事が発覚した上に、久しぶりにお点前をしたことで、再び茶道の世界に入っていきます。

令和元年12月に、裏千家今日庵御家元から、「宗道」の茶名を拝命し、専任講師の資格で、裏千家の指導者としてデビューしました。令和5年1月現在、広島市西区南観音と広島市安佐北区安佐町久地の2箇所の道場で、5名のお弟子さんを指導しています。

出張茶会を開催する機会にも恵まれ、江田島市沖美町のカフェレストラン・bricolage17（ブリコラージュディセツト）で、毎年1月に初釜茶会を開催しています。

江田島の高台のカフェと茶道の異色のコラボレーションは、過疎の島の魅力を広めると共に、瀬戸内の夕暮れを眺めながら、お茶とお菓子を楽しめるとご好評を頂いています。

南観音の自宅の一部に茶室と庭園があり、また、安佐北区安佐町久地には、昭和50年築の中古住宅を購入し、内部をフルリノベーションした茶道道場を、自身の設計施工で竣工しています。

令和2年10月に、茶室開きの儀式を京都からのお客様をお招きして執り行われました。千利休ゆかりの臨濟宗大徳寺の第15代管長高田明甫大老師の直筆の書により「清風庵」（せいふうあん）と名付けられました。

団地の住宅を茶室に改造したことで、襖の組み合わせにより4畳半～20畳までの茶室を作り出し、小間から大寄せの茶会に対応しているのが特徴で、京都からのお客様からも、「新しい時代の令和の茶室」との評価を得ています。

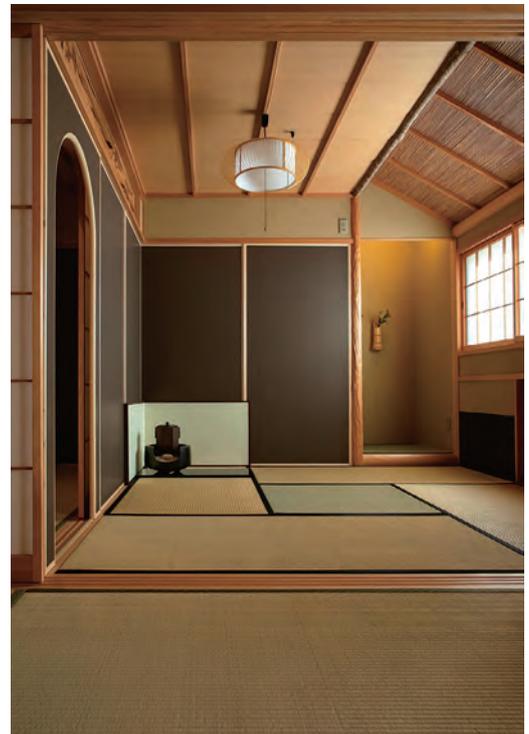
今後、青年部会のイベントとしてお茶会体験や建物見学会を企画していますので、よろしくお願いいたします。



bricolage17での初釜茶会

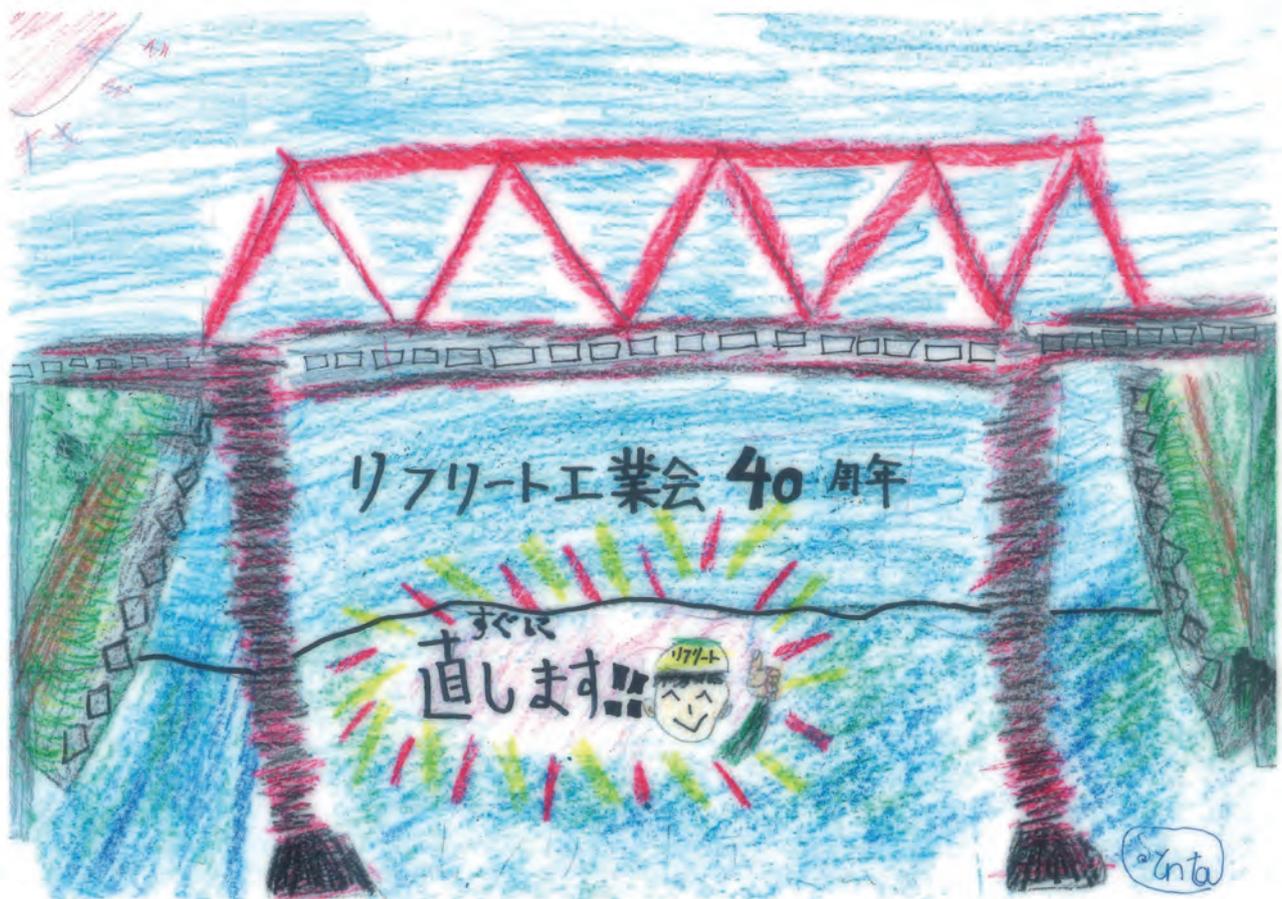


清風庵 庭園



清風庵 茶室

会員の皆様、「私のお気に入り」の投稿を随時募集しております。
協会（電話(082)221-0600）までお問い合わせください。



建物の調査と改修工事のご相談は
□ リフリート工業会 □

中国支部事務局 (082) 261-7191
 (太平洋マテリアル(株) 中四国支社 広島営業部内)

<http://www.refrete.com>

(株) 愛 晃 ☎ 082-262-3110
 ア マ ノ 企 業 (株) ☎ 0849-33-4704
 (株)カシワバラ・コーポレーション ☎ 0827-22-1266
 (株) カ ネ キ ☎ 082-277-2371
 小 島 建 興 (株) ☎ 082-272-3773
 (株)コンステック広島支店 ☎ 082-236-6333

三 共 化 学 工 業 (株) ☎ 082-295-8600
 (株) サ ン ゼ オ ン ☎ 082-291-1631
 (株) テ ク シ ー ド ☎ 082-516-1070
 東興ジオテック(株)リフォーム支店 ☎ 082-497-4777
 (株) ポ リ テ ク ノ ☎ 082-426-1630

(正会員)

○創建ホーム株式会社一級建築士事務所

事務所・開設者所在地変更 新：〒725-0026 竹原市中央5丁目3-41

旧：〒725-0026 竹原市中央3丁目7-1

○アイワ建設株式会社一級建築士事務所

代表者変更 新：代表取締役 村元 守

旧：代表取締役 荒川 慎吾

○メープル二級建築士事務所

事務所所在地変更 新：〒720-0812 福山市霞町2丁目1番6号3F

旧：〒720-0825 福山市沖野上町一丁目1番20号

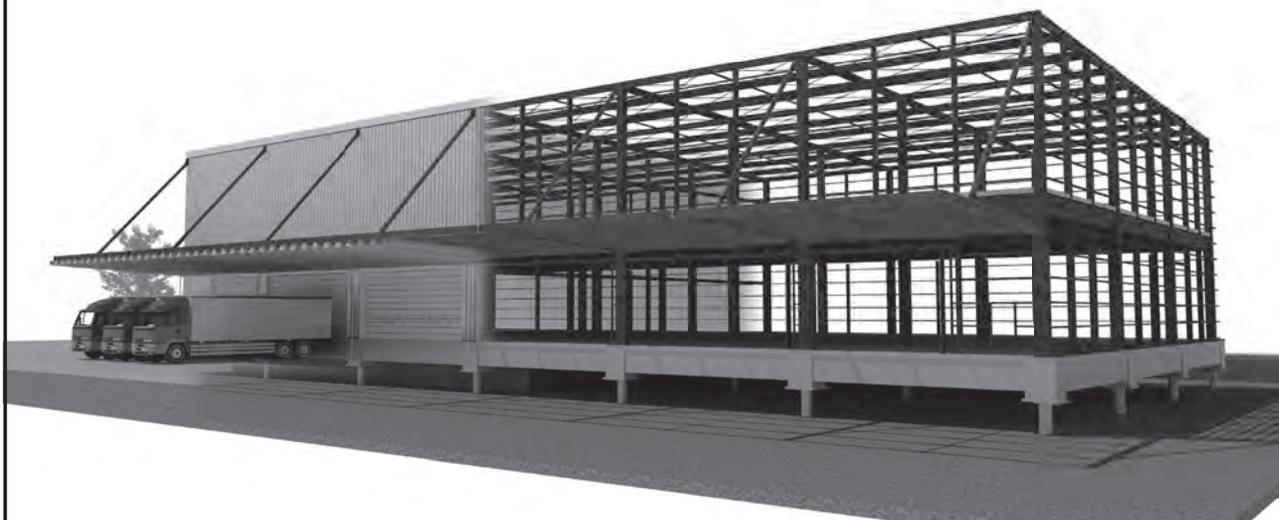
○株式会社エネ・グリーン広島支社

事務所名称変更 新：株式会社エネ・グリーン広島支社

旧：株式会社エネ・グリーン

課題に応える、システム建築。

新たに建物を建てる時の、建設コストや工期などの課題。そんな事業課題を解決できるのが、日鉄物産システム建築です。ソフト面とハード面をトータルでシステム化。豊富ラインナップから、ご要望にあった商品を提案し、建築主様とともに、最適なソリューションを追求していきます。



 日鉄物産システム建築

豊富な施工実績・
物件情報はこちらから



編集後記

先日、事務所の片隅に置いたままになっていたモニターを某〇〇〇オフへ持ち込むと、何と値段300円が付きました。処分するにもお金を取られるこのご時世に有難いことでした。

今回の誌面では試みとして当協会長と若手理事の座談会が組まれておりますが、いかがでしたか。この様な機会はあまりなかったもので、ご意見あれば頂戴したく思っております。

もうすぐ桜の季節を迎えます。外出時はマスクを外しても良さそうなので、春を五感で感じられるのはありがたいことですね。

山本 英広

【お詫びと訂正】建築士事務所協会報2023年1月号[No.473]の掲載内容の誤りについて

当協会の会報誌『建築士事務所協会報2023年1月号 [No.473]』の下記ページにつきまして、内容の一部に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

●建築士事務所協会報2023年1月号 [No.473] P.22 年賀広告内、郵便番号

【誤】 有限会社山谷建築設計事務所 〒722-0012

【正】 有限会社山谷建築設計事務所 〒727-0012

●建築士事務所協会報2023年1月号 [No.473] P.44 新入会会員紹介内、営業品目

【誤】 フジテック株式会社中四国支店

エレベーター・エスカレーター・あるく歩道の研究開発・販売・製造・据付・保守・改修

【正】 フジテック株式会社中四国支店

エレベーター・エスカレーター・動く歩道の研究開発・販売・製造・据付・保守・改修

一般社団法人 広島県建築士事務所協会 情報・編集委員会

担当副会長	河合 哲夫	委 員	山本 英広
担当理事	村田 正道		木本 直樹(賛助会員)
委員長	福山 雅也		日高 博之(賛助会員)
副委員長	熊野 弘伸(賛助会員)		
委 員	藤本 誠二	事務局	河原 直己
	三好 明彦		長谷川彩子
	新見 嘉浩		大木 一郎

発行所 一般社団法人 広島県建築士事務所協会
〒730-0013 広島市中区八丁堀5番23号
TEL (082) 221-0600
FAX (082) 221-8400
ホームページアドレス <https://h-aaa.jp/>
Eメール info@h-aaa.jp

印刷所 株式会社インパルスコーポレーション
〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目16番27号
TEL (082) 878-6000
FAX (082) 872-1664



株式会社

ティーエス ハマモト

マンション修繕工事 内外装リフォーム 新築住宅 店舗デザイン 公共他工事 賃貸マンションプロデュース
〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束4丁目16-2 TEL:(082) 238-1511 FAX:(082) 238-1511

GROUP COMPANY

CMH クレーンメンテ広島
CRANE MAINTENANCE HIROSHIMA

〒739-0265
広島県東広島市志和町冠字猪伏 2691-3
TEL: 082-433-5153
電気ホイスト及び天井走行クレーンの修理
保守点検、製作、販売、据付工事

HAIKAWA
design glass

〒755-0008
山口県宇部市明神町3丁目1-32
TEL: 0836-31-5262
装飾ガラスの製造販売

有限会社 工房志楽

〒731-3362
広島県広島市安佐北区安佐町久地 251-209
TEL: 082-837-1521
建築、インテリア用素材の開発、製造販売

M

株式会社 エムズアーキプランニング
木造建築の各種申請サポート・企画設計

〒819-0043
福岡県福岡市西区野方5丁目64-10
TEL: 092-812-0530
長期優良住宅認定申請 確認申請 ZEH 補助金申請
BELS 評価申請 フラット 35S 申請 等各種申請サポート

透明性の高いグラスファイバー製
不燃シートを採用!

国土交通大臣認定 NM-0895

透光率は
90%

既設建物にも対応

詳しくはホームページで

三和シャッター

検索



- ガラス製のたれ壁とは異なり、地震などによるひび割れ、落下した際のガラス飛散の心配がいらぬ。
- 中棧や下枠が無いので、見通しが良くスッキリとした意匠。
- 壁面に下地が不要で、取り付けも片側からの作業が可能なので、設置コストを低減。

防煙たれ壁「サンスモーク」

防煙シート テンションタイプ BTS

三和グループ 三和シャッター工業株式会社 082-297-3014

技術力を誇る建材総合商社

【営業品目】

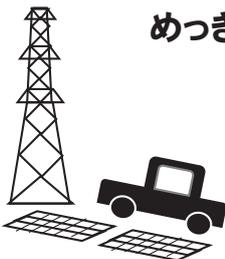
- ・ A L C (ヘーベル)
- ・ 耐火被覆
- ・ 押出成形板 (メース)
- ・ 屋根・板金
- ・ 内装 (軽鉄・ボード)
- ・ スレート・サイディング

折出産業株式会社

〒734-0026 広島市南区仁保四丁目5番7号
TEL (082) 252-6840 FAX (082) 252-6878
E-mail info@oride-s.co.jp

メンテナンスフリーの 溶融亜鉛めっき

めっき工場見学やめっき勉強会のお手伝いをさせていただきます。



- 溶融亜鉛めっきと電気メッキは別のものです。
- 車のボデーに溶融亜鉛めっきが使われているのを御存じですか？
- 電力の鉄塔を塗り替えているのをご覧になられた事がありますか？
- 始終、トラックのタイヤに踏んづけられているグレーチング、錆びたグレーチングを見られた事がありますか？

お問い合わせ先

圓光産業株式会社

TEL:(0845)25-1115 (担当: 松原・寺本)

〒722-2102

尾道市因島重井町474-25

FAX: (0845)25-1181 URL <http://enko.co.jp/>

会報誌への広告掲載を募集しています

会員：(一社)広島県建築士事務所協会の正会員及び賛助会員

□ 広告料(税込)

サイズ	1/4		1/2		1ページ	
申込者	会員	会員外	会員	会員外	会員	会員外
白黒	19,800	33,000	6,600	11,000	13,200	22,000
カラー	33,000	49,500	11,000	16,500	22,000	33,000
大きさ	A4サイズの約1/4		A4サイズの約1/2		A4サイズ(縦)に入るもの	
	約60mm×約165mm		約120mm×約165mm		約250mm×約165mm	
備考	年6回継続契約		1回あたり		1回あたり	

- 【おねがい】1. 申込書は、希望掲載月の前の月の5日までにご提出ください。
 2. 原稿は、申込者が作成してください。
 3. 原稿は、希望掲載月の前の月の10日までにご提出ください。

広告申込書

お申込者(社名)				申込日	令和	年	月	日
ご住所								
担当者ご氏名								
TEL				FAX				
e-mail								
広告の名称(表題)								
広告サイズ	<input type="checkbox"/> 1/4	<input type="checkbox"/> 1/2	<input type="checkbox"/> 1ページ					
カラー	<input type="checkbox"/> 白黒	<input type="checkbox"/> カラー						
希望掲載月	<input type="checkbox"/> 6回	<input type="checkbox"/> 5月	<input type="checkbox"/> 7月	<input type="checkbox"/> 9月	<input type="checkbox"/> 11月	<input type="checkbox"/> 1月	<input type="checkbox"/> 3月	
	※1/4サイズは、年6回の継続契約となります							
広告料金額								

※広告の希望欄に✓を付けてください。

【お問合先・お申込先】 (一社)広島県建築士事務所協会 〒730-0013 広島市中区八丁堀5-23オガワビル2階
 電話 082-221-0600 FAX 082-221-8400 Eメール info@h-aaa.jp

随時募集

会報誌発行時の広告チラシやパンフレットの有料折込

毎月の会報発行時に貴社の広告チラシや製品パンフレット等を有料で同封いたします！
 受付可能なサイズ等、詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせください。
 折込料(税込):会員 11,000円/1回/会員外 33,000円/1回

2021年度 新規加入受付中

中途加入は翌月1日より補償開始

建築士事務所協会会員の皆さまへ

消費者
保護を形に
すれば…

日事連・建築士事務所 賠償責任保険

〈建築家賠償責任保険〉



建賠保険は 建築士事務所を賠償事故から お守りする保険です。

好評

弁護士相談 **無料** サービス

施主とのトラブルや従業員とのトラブル…

建築士事務所のお悩み解決をサポートします!

日事連サービス

クリック

ネットで
お手続き

▶ 日事連・建築士事務所 賠償責任保険とは…

発注者から
大きな信頼

国内建築物の設計業
務のミスを包括的に
カバー

団体割引で
加入可能

事務所協会(会員)の
ための制度

選べる5タイプ

基本補償プランの支払
限度額は事務所の実態
に合わせて選択可能

保険料は
損金処理可能

保険料は経費として損
金処理可能、お支払いは
便利な自動口座引落し^(*)

さらに 特約(オプション)プランで安心をプラス

会員のみ加入可能、別途
特約保険料が必要

安心① 構造設計業務ミスによる「構造基準未達」時の賠償事故を補償

安心② 建築基準法等における「法令基準未達」時の賠償事故を補償

安心③ 建物調査業務(耐震診断等)中の賠償事故を補償

安心④ 事業活動中(テレワークを含む)のサイバーリスクを補償 **New**

●この広告は、日事連・建築士事務所賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の詳細はホームページ(<https://njs-ins.com/>)に掲載のパンフレットをご覧ください。ご加入(同じ内容で更新する場合を含みます。)にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。「重要事項説明書」には、ご加入または更新される保険の商品内容をご理解いただくために重要な情報、および、お客様にとっては不利益となる事項等、特にご注意いただきたい事項を記載しております。詳細は保険約款によりご確認ください。なお、ご不明な点等がある場合には、日事連サービスまでお問い合わせください。

(*)自動口座引落しは更新契約に限りです。新規ご契約に関しましては、指定口座へのお振込みをお願いいたします。

資料請求、お問い合わせは下記にお申し付けください。

日事連・建築士事務所賠償責任保険 取扱指定代理店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 東京STビル3階
TEL.03-3551-6633(建賠保険専用ダイヤル) FAX.03-3552-1066
有限会社 日事連サービス E-mail: njs-q@nichijiren-service.com

〈幹事引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社〉

20-T04199 2020年12月作成



Stainless curtain wall

Order furniture



Order made kitchen



Order made kitchen



ステンレス加工と家具製作 そしてキッチン。



株式会社 松岡製作所

本社・ショールーム

東京ショールーム

広島市西区商工センター 8-9-33

TEL:082-277-2571 FAX:082-277-2789

東京都世田谷区奥沢 7-1-3-1F

TEL:03-5726-8622 FAX:03-5726-8623

<http://www.matsuoka-pro.com>

☎ 0120-477-473

“建設業界の発展”のために協働できること

私たち総合資格学院は、建設業界の振興を目的とし、様々なかたちで全国の建設系団体や地方自治体と協働させていただいております。

その活動は設計展の支援から、講演会の支援や当学院合格者の入会幹旋まで多岐にわたりますが、ここではその取り組みの一部をご紹介します。今後も、No.1スクールの自覚を持ち、このような活動を通じて建設業界に貢献して参りますので、各種イベントや企画に関するサポート等については、お気軽に最寄りの当学院までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

大連理工大学 建築・芸術学院 他 × 総合資格学院

21世紀アジア地域に向けた新しい建築「伊東豊雄氏 講演会」

平成29年9月22日。大連理工大学建築・芸術学院、大連民族大学設計学院との共同で「21世紀アジアの地域に向けた新しい建築」と題したイベントが中国の大連で開催されました。このシンポジウムでは、当学院が長年にわたり活動を支援している伊東豊雄氏の基調講演をはじめ、中国の著名建築家や大学教授の方をゲストに迎えたクロストークなどが行われ、日中合同で実現した有意義なイベントは大きな反響と共に幕を閉じました。





一社)東京建築士会 × 総合資格学院

住宅課題賞2020 【建築系大学住宅課題優秀作品展】

東京建築士会の主催による設計展「住宅課題賞」は、建築を学ぶ学生のみならず、建築の基本である住宅の設計を通して建築への興味とその社会的意義の認識を深めるとともに、大学間、第一線の建築士との交流によって、建築教育の情報交換と向上を図る目的で開催されています。当学院が発行する本展記録集では、各校から選出された53作品すべてを各4ページで紹介。また、建築教育関係者の情報交換の場となるよう課題文を展示する、という設計展の趣旨を作品集においても踏襲し、作品紹介と一緒に課題文や指導教員のコメントも併せて掲載しています。





総合資格学院は学科も設計製図も広島県合格実績 No.1



※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に沿って掲載しております。 ※都道府県合格者数・都道府県ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・設計製図ストレート合格者と、令和3年度の1級建築士学科試験に合格し、令和3年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。



※当学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

広島県建築士事務所協会会員様 受講料割引あり! 詳しくは下記最寄校までお気軽にお問い合わせください。

1級・2級 建築士 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 建築設備士 1級・2級 建築施工管理技士 1級・2級 土木施工管理技士 1級・2級 管工事施工管理技士 1級 造園施工管理技士 宅地建物取引士 インテリアコーディネーター 賃貸不動産経営管理士

法定講習 一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/監理技術者講習/第一種電気工事士定期講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習



総合資格学院



スクールサイト www.shikaku.co.jp 総合資格 検索
YouTubeチャンネル www.sogoshikaku.co.jp
Twitter ⇒ @shikaku_sogo LINE ⇒ 「総合資格学院」
Facebook ⇒ 「総合資格 td」で検索!

おかげさまで総合資格学院は「合格実績日本一」を達成しました。これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。



広島校 TEL: 082-542-3811 福山校 TEL: 084-991-3811

総合資格学院 院長 岸 隆司